

会議録（要点筆記）

会 議 名	令和元年度 第3回米原市社会教育委員会議
開 催 日 時	令和元年 12月17日（火） 午後7時30分～午後9時00分
開 催 場 所	米原市民交流プラザ 1階健康ルーム
出 席 者 (敬称略、順不同)	<p>&lt;出席者&gt;</p> <p>大谷 章、上田 洋平、田中 一郎、中西 太、 西林 正夫、田中 理華、谷口 嘉之、谷口 絹代</p> <p>&lt;欠席者&gt;</p> <p>一ノ宮 賢了、富田 正子、塚田 多佳子、北澤 あさこ</p> <p>&lt;事務局（生涯学習課）&gt;</p> <p>梶田課長、堀補佐、澤主幹、田野主任、田中主事</p>
協議事項	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 研修「米原市のコミュニティ・スクールの現状」</p> <p>4 閉会</p>
結論(決定した方針等)	議事録のとおり
協議経過 (主な質問、意見)	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ（大谷委員長より）</p> <p>3 研修「米原市のコミュニティ・スクールの現状」 講師：大原小学校 教頭 西脇 繁 氏</p> <p>・<u>コミュニティ・スクールとは</u> 学校運営協議会を導入した学校をコミュニティ・スクールと呼ぶ。 学校運営協議会制度は、保護者や地域コミュニティが一定の権限と責任をもって学校運営に参画する。そのニーズを学校運営に反映するとともに学校・家庭。地域社会が一体となってよりよい教育の実現を目指す制度のこと。</p> <p>・<u>一定の権限と責任</u> ①校長の作成する学校運営の基本方針を承認する。 ②学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べる。 ③教職員の任用に関する意見を教育委員会に述べられる。 ⇒学校運営協議会は、教育目標などの大綱について承認を行うことにより学校運営に関わる、日常の学校運営は、これまでどおり学校長の権限と責任で行われる。コミュニティ・スクールも責任者は校長である。</p> <p>・<u>委員は誰か</u> 地域住民、保護者の代表者、その他教育委員会が必要と認める者など</p>

・学校運営協議会の意義

「信頼される学校づくり」の取り組みを前進させるために制度化された。法令に規定することで、意見を学校運営に直接反映されることを制度的に担保した。地域住民等と協働して教育目標の設定や達成に取り組むための仕組み化をした。

学校支援地域本部（地域学校協働本部）は、国の予算事業として平成 20 年度より開始。学校支援地域本部が全国で設置され活動が活発となり、コミュニティ・スクールのキッカケとなった。また生涯学習施策として、地域住民の生涯学習・自己実現の場として、学校支援ボランティア活動を推進した。

・米原市での取り組み（平成 30 年度）

伊吹山お花観察会（伊吹小学校）、ほたるパレード参加（山東小学校）、文化祭ワールド・カフェ（柏原中学校）、学校支援教室（伊吹山中学校）

・米原市の具体的な施策

2008 年～2019 年：学校評議員制度（学校運営協議会制度開始に伴い、廃止）

2013 年～：特色ある学校づくり支援事業

2015 年～：学校支援地域本部事業

2018 年～：学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）

家庭、学校、地域の三者が集まれる場

役割分担における協働体制の確立

・平成 30 年の取り組み（モデル校、3 校の取り組み）

伊吹山中学校「北國脇往還ふるさとウォーク」

河南中学校「地域でお花を咲かせてみませんか事業」

米原中学校「かまどベンチづくり」

※令和 2 年度より全ての小中学校で取り組みを開始。

・学校運営協議会の目指す方向性（大原小学校の事例）

①特色＋課題解決      ②既存ボランティア組織＋α

③持続可能（いかに長期的に継続して取り組むか）

・学校運営協議会の開催状況（大原小学校の事例）

平成 31 年度、全 7 回予定

・社会教育からのアプローチ（人材育成）

「口を出す」：学校運営協議会における協議の活性化

「手を出す」：学校支援地域本部における教育活動の充実

	<p>口または手だけを出す人だけでなく、口も手も出してくれる人が必要。</p> <p>(意見①)</p> <p>地域活動の際、学校に協力依頼をすることがあるが、実際子どもよりも先に教職員に行動してもらいが必要があり、申し訳ない気持ちがあった。しかし、本日の話を伺い、学校は学校のことだけでなく、家庭や地域との関わりを前向きに考えていることが分かり良かった。</p> <p>(講師①)</p> <p>今は誰かに負担が偏っているかもしれないが、将来的には所属に関係なく誰もが協力し合える姿を目指している。またそうした関係作りのためにも、地域の大人同士が話し合い、一緒になって行動できる社会づくりが大切だと思う。</p> <p>(意見②)</p> <p>導入初期に消極的な意見などあったか。またその人たちは今どのように変化したか。人材教育における工夫はあるか。</p> <p>(講師②)</p> <p>まずは、周知徹底が必要だと思っている。また学校と地域の想いのマッチングが難しい。人によって、様々な期待やイメージがあり、個々がバラバラに行動してしまう。</p> <p>(意見③)</p> <p>学校運営協議会は、一般公開か。また、子どもたちが実際どのような大人になりたいと思っているか発言できる場としても活用できればと思う。</p> <p>(講師③)</p> <p>公開している。</p> <p>4 閉会</p>
--	--

会議の公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等： ) <input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等： )
全部記録の有無	会議の全部記録 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無   録音テープ記録 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
担当課	教育委員会事務局生涯学習課 (外線：55-8106)